

【震災復旧・復興に関する地区説明会（室・湖西地区）】

日時：令和6年11月30日（土）14時～ 会場：西荒屋公民館

主な質疑（概要）

○：参加者からの意見・質問

●：町の回答

※補足事項

○地下水の水源は砂丘から流れてくるのか。地下水位は地下1 m程のところにあるとのことだが、水源を矢板で止めることはできないのか。

●地下水は砂丘から流れてきていると想定される。国から示された格子状地中壁工法は、矢板で区切ってしまうものであるが、水の流れが止まり、他の箇所でも液状化を促してしまう可能性があるため不採用となっている。

○水が入るところを遮断してポンプで排水すれば良いのではないかと。検討の余地はあるのか。

●地下水位の流れは実証実験で把握したいと考えている。ただ仕切ってしまうと地下水位の流れが変わってしまうと聞いている。

○相当の時間を要するようだが、時は金なりとの言葉がある。高齢者にとって時は命である。優先して対応してほしい。

●町全体で早期に対策工事を実施したいと考えているが、実証実験によりどの工法が有効であるかの検証も必要である。なるべく早く着手したいと考えている。

○家が滅失された方の対応を優先して対応してほしい。

●できるだけ早く対応していきたい。

○自宅を公費解体してもらったが、地盤が緩んでおり、改良する必要がある。液状化対策に5～10年かかるとの説明だが、災害公営住宅の整備予定地で優先的に対策を進める予定はあるのか。

●P17に災害公営住宅のスケジュールを示している。令和9年度の入居開始に向け、協議・調整を行っている。なおP19に示したとおり、災害公営住宅への入居には条件がある。

○それまでみなし仮設住宅に入っている場合はどうなるのか。

●応急仮設住宅の入居期間については国・県に期間延期を要望している。

○最近地震が続いているが、西荒屋小や公民館が避難所として使用不可ということならば、町としてはどこを避難所として考えているのか。

●11月26日に地震があった際、西荒屋公民館を避難所として開設したが、それだけでは不足していないと思うので、西荒屋小の体育館を一時的に解放して利用してもらいたいと考えている。

○みなし仮設にいて、白帆台での整備を希望した。災害公営住宅の希望場所はこちらから指定できるのか。

●2回目の災害公営住宅に関する意向調査を12月に実施する予定であるが、その中で具体的な意向を聞く予定である。

●アンケートを踏まえて、被災者の希望に沿えるように対応したい。

○P6の液状化対策検討エリアと液状化被害可能性範囲の2つのエリアについては、調査を実施しているのか。まだ時間がかかるのか。

●赤点線は被害があったと思われる範囲を示している。オレンジ線は地下水位低下工法等の液状化対策を検討する範囲であり、湖西は地区全体が含まれている。

○結果が出るまでに時間がかかるのか。最近、震度は大きくないものの地震が頻発しており、液状化がさらに進行することを心配している。どういう調査をして結果がいつ出るのか住民としては心配である。

●あくまでも予定であるが、P10のとおり実証実験は令和7年度に実施し、対策の有効性が認められたら、合意形成を図り工事着手となる予定である。

○中道の車道については、穴が多く空いており、早急に仮舗装をお願いしたい。

●仮舗装工事を随時実施している。今年の冬には完了させるべく対応している。ご協力をお願いしたい。

○室公民館について、来年2月に文科省の補助事業が採択見込みとのことだが、採択されない場合は町独自の事業で実施設計などを進めるのか。また中道について、圃場整備事業エリアの中で仮設住宅を整備してもらったが、段差が50センチほどあり乗り入れできない状態であり、早急に対策をしてもらいたい。

●公民館については、補助金が使えない場合でも室地区のコミュニティのための公民館は整備する。

●町道については、走行可能なように仮舗装工事を進めていく。50センチの段差は応急に対応が可能かの確認をした上で、対応可能なところであれば工事を進めたい。県道までのルートは回り道になるかもしれないが確保したい。

○室の中道の沿道に住んでいる。今年冬の積雪への対応方策の案内がない。消雪の水が出ない状況にあり積雪することは確実である。町はどのような対応を考えているのか。

●室の中道などの消雪は地震の影響で散水できない状況であり、まだ仮舗装工事が未施工の箇所もあるが、今後仮舗装工事を終え、機械除雪で対応していきたいと考えている。11月開催した町除雪会議にて区長・町会長にはお伝えしている。

※住民への周知を図るため、町HPに題名「冬期の道路除雪計画について」として、令和6年度内灘町道路除雪実施計画、地震の影響による消雪設備の一部停止箇所を掲載している。

○P8の各工法の留意点で地盤沈下の恐れや、振動や騒音が発生する等の記載がある。熊本等の事例を踏まえて検討してきたものと思うが、このような状況になった場合、行政はどのように対応するのか。

●地盤改良工法で騒音や振動発生の恐れありとの記載をしているが、例えばスクリー方式で圧力をかけていくなどの工法も考えられ、実際に地盤改良工法が有効となった場合には、工法の具体的な検討も行っていきたい。

地盤沈下についても実証実験で検証していきたい。仮に有効性が確認でき工事を進めた際に、対策工法が原因で被害が出た場合は補償制度がある。

○P7で地下水位低下工法と地盤改良工法のどちらかを採用することだが、場所によって工法を変えるのか。我が家の周りは10軒程度家屋が残りそうだが、地盤改良工法が採用された場合は、残った家はどうすればいいのか。

●地盤改良工法は更地に杭を入れて対応する。それ以外の場合は地下水位低下工法が優位と考えている。3,000㎡と10戸の国の要件も考えて対応したい。

○公費解体は今年度末までと聞いているが、地盤改良工法となった場合、自宅が残っている場合に工法が採択できなかった場合を懸念している。それから解体することも考えなければいけないのか。

●具体的な区域や工法は公費解体の期限もあるが個々に調整していく。

○P16の災害公営住宅について、間取りが示されているが60戸がどのようなレイアウトとすることを考えているのか。

●形状や構造は2回目のアンケートの結果を踏まえて決めていく。

○アンケートは世帯主のみなのか。子供や老人など、アンケート対象者の幅を広げてほしい。鶴ヶ丘のような希望が持てる災害公営住宅になると良いが、いかがか。

●アンケートについては、世帯主が対象となるので、ご家族で相談して回答していただきたい。

○液状化の地下水位低下工法について、周り近所は全て公費解体で建物がなくなり、1戸程度しか残らないと思われる。10戸以上の条件が厳しくなるのではないか。その状況を考えてもらいたい。

●国の要件は被災前ではなく、整備後の話であり、国と調整していきたい。

○技術的なことだが、地下水位低下工法を念頭に置いているのか。

●地下水位低下工法は道路下に集水管を入れ、住民負担も少ないので優位と考えている。

○地盤沈下のリスクはどう考えているのか。

●地盤沈下のリスクを実証実験で検証して判断する。また、対策で生じた被害の補償制度はある。

○家を建てた場合、どこまで補償してくれるのか。確実に地盤沈下すると考えられるが。

●実証実験の結果を踏まえる。

○先日の事故について、北陸電力には電話したが、電柱の傾きについて非常に心配している。北陸電力の原因ではあるが、町としてどう考えているのか。北陸電力に確認してもらいたい。道路側に倒れたら非常に恐ろしい。

●発災前から電柱が傾いている箇所について、占有者に対して詳細な計画を出してほしいと伝える。

●火災が生じた翌日にすぐに連絡して対応した。

○液状化対策を待っているのは遅すぎる。速やかに対応してもらいたい。

○災害公営住宅の家賃はどれくらいかかるのか。駐車場はあるのか。

●12月に行うアンケートに参考金額の記載を検討する。駐車場についてはアンケートでの回答を踏まえて検討したい。

※12月に実施するアンケートの参考資料に、おおよその家賃としてお示しいたします。

○令和9年度の入居に向け、それまでに住民が亡くなったりした場合は部屋のタイプはどのようになるのか。

●アンケート回答時ではなく、入居時にあわせた部屋になる。

○整備時期によっては建物の形状も変わってくるのではないのか。

●アンケートで確定するわけでない。あくまでも参考にして検討を進めるということである。

○うちの近所の電柱も傾いている。直接北陸電力へと交渉したようだが決まらないようであり、住民単独で相談してもらちが明かない。町からもプッシュしてもらいたい。

●町からも北陸電力に働きかけたい。

●役場でも個別に相談を受け付けているので必要に応じてお問い合わせいただければと思う。一日でも早く対応していきたい。